



Q

コロナ禍における 子育て支援策について

いずもびんたるう
出雲敏太郎 議員



A

ためらわずに相談していただき
たい旨を周知する

問 児童虐待の防止策は。

答 子育てに強い不安を抱いている保護者や支援の手が足りない家庭へ定期的に訪問する支援等を、関係部署が連携して行っている。また、リーフレット等で市民への啓発も行っている。

問 虐待が疑われる場合には、ためらわずに通報することが重要であることの周知を。

答 まずは市に通報していただきたいこと、通報した方の情報は必ず守られるということを含め、後にも啓発していきたい。

問 ひとり親家庭等への支援は。

答 所得の低いひとり親家庭を支援するため、これまでに国や市では、給付金による支援や自立支援等を行ってきた。

問 生活保護について、ためら

わずに相談することの周知は。

答 市ホームページで、生活保護の申請は国民の権利であり、遠慮なく御相談していただいた旨を周知している。

問 新型コロナウイルス感染症に感染した妊婦への支援は。

答 御本人の希望をよく聞きながら、医療機関と連携して、必要な支援を行っていく。

◎その他の質問

一 起立性調節障害の正しい理解に向けて

二 空き家対策の推進について

Q

コロナ禍での選挙の 感染防止対策

まつお
松尾 孝彦 議員



A

安心して投票していただけるよう
十分な感染防止対策を行う

問 新型コロナウイルス感染症

の今後の動きが注目される中で、感染防止をしながら選挙を滞りなく実施しなければならぬ。

このような観点から、選挙に

おける感染防止対策とソーシャルディスタンスへの対応は。

答 投票所においては、基本的な感染防止対策を徹底した上で、

入り口に1メートル間隔で待機線を引

き、その他の場所では職員が声がけをするなど、距離を空けて並んでいただくよう促す。そして、混雑する時間を避けて投票

に来ていただくため、過去の選挙における時間別投票者数の状況をホームページや広報紙に掲載し、投票所の混雑が予想され

る選挙では、混雑状況をリアルタイムでホームページにて確認できる混雑状況可視化サービスを導入する予定である。これにより投票所が空いているのか混雑しているのか、また、何分程度待つかといった情報を瞬時にお伝えすることができる。

また、期日前投票の利用を呼びかける。

開票所においては、事務従事者が密にならないよう、間隔を空けて開票作業を行うなどの対応をする。

◎その他の質問 自転車保険の加入促進について



投票箱